

## 日銀のマイナス金利政策解除に対するコメント

神戸商工会議所

会頭 川崎 博也

このたびのマイナス金利の解除は、金融政策正常化に向けた第一歩であり、長く続いた異次元緩和の常態化を脱し、低成長経済から持続的な成長型経済へと転換する、ターニングポイントとして受け止めている。

解除後も、急速な利上げに踏み切るのではなく、緩和的な金融環境が当面続くものと見るが、日銀においては、金融市場・実体経済の動向を注視しながら、今後とも丁寧な金融政策のかじ取りを期待する。

足元では、大手企業を中心とした賃上げや価格転嫁の動きは力強いものの、これを中小企業や小規模事業者も含めた地域経済全体に波及させ、持続的なものとしていかねばならない。

今後迎える“金利のある世界”においても、地域の中小企業が事業を継続し、前向きな投資や賃上げに取り組めるよう、商工会議所としても、その支援に全力を尽くしていく。

令和六年三月十九日